

■**牧野康哉** 小諸藩主，幕閣。表石高に合わせるべく，種痘を導入して人口増加，さらに育児法，養老法，基盤整備も。
まきのやすとし
水野忠成老中1818＝ 江戸で，笠間藩主牧野貞幹の次男に生まれる。

日本外史・・1827＝ **9歳**：

同族小諸藩主康命の養子となり，

鼠小僧磔・・1832＝14歳：_養父死没のあとをうけて，小諸一万五千石を襲封した。

・・・・・1836＝**18歳**：
大塩平八郎乱1837＝19歳：

_表高一万五千石は実高三万石と称せられ，人口が減って石数と合わず，減少の最大の原因は痘害によるものと憂慮していたが，

阿部正弘首座1845＝**27歳**：幕府の奏者番となった後，

・・・・・1848＝30歳：_長崎にモーニケがオランダ商館の医員として来日し，痘苗をもたらして種痘術を伝えたことを知ると，

国定忠治磔・1850＝32歳：***藩医3人を長崎に派遣して種痘術を学ばせ，まず自分の娘2人に施して実験し，**

_ついで士民に実施した結果，人口が増加し，10年を出ないうちに3万に達したという。

ペリー来航・1853＝35歳：
開国開港・・1854＝**36歳**：

_また民間の墮胎を禁じ，尚齒法を定めて80以上の窮民に終身分米を給した。そのほか田畑の開発，農業の改良，山林の増殖，濫伐の禁止，治水の完備，産業の振興などにも力を用いた。

五ヶ国条約・1858＝40歳：西ノ丸若年寄，本丸勤仕となり，

桜田門外変・1860＝42歳：***勝手掛として本丸普請用掛を命ぜられ，その功で賞賜・従四位下に進められ，若年寄を免ぜられた。**
_水戸の徳川斉昭，安中の板倉勝明および韭山代官江川英竜(太郎左衛門)と深交を結び，儒学を好み，異書を蔵する者があれば謄写させ，洋学にも通じ，兵学では銃砲術から行陣の法に至るまで精通したが，

8月18日政変 1863＝**45歳**：_没した。